

日刊 發行編輯人 川崎文治 本社 同番地 (電話六三〇番) 印刷所 常盤毎日印刷所

# 常盤新聞

定部 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元 廣告 五字一行 一日一元 三日三元 五日五元 十日十元 一月二十元 一月以上 另議 印刷 每部五錢 郵税 五錢 發行所 常盤毎日印刷所 電話六三〇番

三月三十一日 星期三

寄書

### 神社問題私見

近藤 兵庫

私の見る所では、これは大きな誤である、如何なる宗教でも其の本源は原始的である、基督時代直後の基督教は原始的であつた、同様に神武天皇時代の神道は原始的であつた、然し文明國たる日本國民の中に生ける信仰となつて勤ける神社神道は斷じて原始的ではない、日本民族を原始民族であると證明するか、或は日本人中の原始的のみに殘

存する宗教であるといふ事を證明するに非ざれば、斷じて原始的の宗教であると稱し得ない、宗教學者は先づ日本の神社神道を除外して現代宗教の觀念を作り、さて後實は性質の異なる神社神道であるものを性質の未發達な劣れる宗教と見誤るのである。

神社神道の本質如何、對立的宗教が、個人の安寧幸福を祈る代りにこれは國民國家の安寧幸福を祈り、彼が個人の道徳的修養を目的とする代りに、此れは國民國家の道徳的向上を不知不識結果してゐるのである、勿論これは私の心胸に映じ

た神社神道の本質である、例外尚より多い、船人が金刀比羅宮に參る、商人が大西神社に參る、皆この本質を逸したものである。

私の神社神道の本質と認める所は、全國民が、聖上陛下を中心として共に共に伊勢大神を中心とせる靈界の過去の皇位及び功臣を祭る事である、かくて國家國民は瞬間的現在の國民から成るのみならず、永遠の過去を包攝せる歴史的現在が即ち永久の將來に發展する歴史的現在が國家國民を構成するといふ一體感を感じ得るのである。

### 新學年の御用意

學生カバン 小供甲冑 筆人紙挾 計數石盤

◇各學科參考書類

マル柴田書店 電話 二三四番 九〇五番

### 最新流行行

各國時計 ユビワ 眼鏡類

安特賣

金時堂 高橋時計店 平町土橋通

### 貸家案内

五丁目 勤人向 金四、五〇  
長橋町 全 金五、五〇  
舊城跡二ノ丸 全 金八、五〇  
柳一町 全 金六、五〇

加藤營業所 白銀町 (電話三三番)

眼鏡 トキハヤ 平町一丁目  
蓄音器

各種体温計 寒暖計 蘭内藥局 電話四〇番

### 耳鼻咽喉科専門

場所 (舊診療所裏通り)

# 合津醫院

平町仲田町 (電話五五九)

### 藥化粧品衛生材料

洋酒罐詰染料塗工料

# 尚美堂藥店

平町田町 (電話二六八番)

### 外科 性病科 光線科

× 光線科 意隨院入

平町田町 (赤心堂病院跡)

# 安齊外科醫院

電話四七五番

### 磐城名物

干やなぎ 塩から 御進物に好適 御用命次第 廉價御提供



# 魚問屋

目丁四平 屋問魚屋市丸 番一三二話電

### 親友 確實 生命

花は櫻保險は住友

愛しき妻子の爲めに 老後を樂しむ爲めに 子女の教育結婚の爲めに 事業資金の爲めに

經營者ノ確實ナル信用有ル全ク 契約者本位ナル保險料ノ最モ安イ 住友生命ヘ御ス、メ致シマス

住友生命保險株式會社 平事務所 福島 寛利 平町長橋町 代理店 金成泉一 郎 平町材木町 電話七〇四番

### 第四生徒募集

一、卒業は産婆、看護婦兩科通じて一ケ年  
一、入學資格 高等小學卒業又は同等以上のもの

一、申込期日 四月八日迄

平南町 平產婆看護婦學校 校長 清野 キヨ (電話三〇七番)

### 成田團體募集

一出發、解散 四月六日午前七時五分平發... 十二時卅七分成田着翌七日早朝大護摩修業並に坊入ノ後午前十時頃成田解散

一會費 金八圓五拾錢 但シ片道汽車賃、車中畫食費 成田宿泊料及茶代、祝儀、特別大護摩修行費箱札代一等坊入料及祝儀其他解散迄ノ諸費一切

例年ノ通り右募集致候間至急御申込下サレ度候

但シ會費ハ同時ニ御拂込ノコト

平町五丁目十一番地 大新榮講 元 井上貞治 郎 講 電話六六五一八

# 櫻

## 咲く 枝頭に二三輪

羞らひつゝ、笑む  
松ヶ岡公園賑ふ

松ヶ岡公園の櫻は近來稀れに著しい春の陽に恵まれ、滅つ切り含みがふくらみ初め、今年には開花が早い「うら」の花便りにたがはす、笑みこぼれた枝頭の二三輪、羞らふ様に風情がある。昨日の日照は可成りに杖引く人の数も多く春木亭では紅白の幔幕を張り廻して花見気分を横溢せしめ、料亭のときわや尼子亭も張出しの準備に忙しく愈よ、数日の間に満山花の賑ひを呈すに至るであらうと。

## 社民と悶着

### 会場拒絶で 検束者續出

社民衆黨石城支部は時局批判演説會を中止解散せしめた植田署長の彈壓に憤慨し之を糾弾すべく再び二十九日午後六時より菊田座に演説會を開かんとした。植田署長は後難を恐れ會場の貸與を拒絶したので主催者側と悶着が起り前金まで拂つてあるのに貸與せぬとは不法であると呼び、座主に對して強硬に談判を開始したので植田署では主催者に警告を發したが、入れず形勢不穩に陥つたので主催者吉田芳枝(ハ)外五名を檢束し回事もなく濟んだ爲め同夜十一時全部歸宅を許さ

## 四倉角網 愈よ張立て

### 定期漁業免許 問題視されてゐる

問題視されてゐる四倉漁業組合出願の定期角網漁業に對しては久ノ濱大敷網と屢報の如きいきさつあり縣も慎重調査の上願意通り四倉地先一千九百間の地點として二十八日付で定期漁業法五百七十五號を以て免許した四倉漁業では直に投げ網の準備をしてゐるがその漁場は四倉町と大浦村大字仁井田との境界端北六百二メートル、堀川標識を起點として沖合百五度の角度により九百間の處より一千間の間に網を張る事になつてゐる。

## 仲買退治に

### 山間へ爾市場

石城郡永戸、箕輪、三坂等山間部の村落には毎年爾の仲買人が入り込み安値で買占め養蠶家は非常に損失を重ねてゐたので、本年春爾出廻り期よりこの損失を防止すべく石城販賣利用組合四倉爾市場にて出張市場を永戸村大字合戸に新設した。この弊害を防止するとに決

## 濱では既に

### 鯉漁の準備

#### 今年こそはこ

#### さほい込んで

本一平作の「刀を抜いて」や人情嬉談「親父と其子」夫れに「血染の伽羅」が非常に好評を博して居る

本縣の鯉漁は例年五月七旬から始まるが今年はや暖かいので四月下旬には出掛ける事になるらしく既に千葉縣では一番船が出たとの情報があつたので縣下の漁港江名、豊間、四倉、久の濱、請戸等では恐ろしい人氣で漁夫の雇入れ、船の修繕網の手入れに轉手手舞してゐる。出漁の發動機船は四十七艘乗組漁夫は二千名で何れも遠海漁業である初めは遠く八丈島縣附近まで行くが漸次北に移り景後は岩手縣から北海道の沖合に活躍し九月中旬頃迄が漁期となつてゐる。最近二三年間不漁続きであつたから今年こそはと漁民達はさほい込んでゐる。

## 警中合格者

### 五日に入學

警城中學校の入學試験の合格者二百五十名左の如くで五日午後一時から入學式を舉行する(順不同)

- 妻貞三郎、高階次郎、橋本弘、佐分利八郎、小野繁雄、馬上功、床宿達夫、鈴木守、猪狩弘、渡邊仁作、鈴木茂男、高木盛治、中野目知明、赤津四郎平、藤井正治、鯉淵喜一、沼田保、大平正人、大出喜八、佐藤佐内、鈴木志郎、小松貢、遠藤五郎、本部梧朗、齋藤利久、柴田内面一、石田隆男、鈴木五郎、野木忠、高橋忠、下山田定己、志賀進、菅波正六、新妻健次郎、志賀義一、政井精敏、阿部元彦、福本長司、萩原二郎、林誠一、坂田外面二、緒形鐵夫、坂本文明、根本善一郎、坂本三郎、猪狩好輝、木野内久光、星野三郎、香取良一、鈴木通夫、瀬尾善之、栗城映、川島次郎、猪狩六郎、大森正、猪狩忠也、佐藤信枝、松本雄一、四家一美、鎌田安義、一色増男、伊藤一郎、瀧上岩男、山口廣慶、萩忠作、北郷雅光、渡邊仙一郎、園田三郎、山田龍生、久保木忠夫、堀越祐喜、阿部敬一、鈴木康輔、引地富夫、鈴木克己、佐藤重隆、川角三郎、金子正、秋山博、長保彦、中山貞之、山部正幸、古川淳、新田目正夫、渡邊四郎、櫻村好孝、松野三雄、小島順三郎、赤津作衛、小湊通利、入見要、由良光雄、渡邊義雄、矢吹博信、阿部藤重郎、

## 警女合格者

### 百九十八名

縣立警城高等女學校で既報の如く去る廿七日より三日間入學試験を行つたが受験者三百七十六名(缺席五名)の中左記百九十八名が合格し本日發表さる

(受験番號順)

- 高萩マサ子、新田綾子、鈴木綾子、松田ミヨ、落合とし、鹽トシコ、鷹岡紗子、荒木重子、大枝美智、鈴木たか子、森ヨシ岡村綾子、大河原トシ、鈴木タツ子、西瀧チカ、木村富子、小松タツ、佐藤フク子、大須賀トキエ、齊藤さみゑ、若松幸江、前田シメヨ、箱崎ミヨ子

- 松本マリ子、松本キヌヨ、渥美利子、大木隆子、橋本トキ、平松ヨシ、大塚澄子、渡邊綾子、本田キミ、高原タイ、長谷川能富子、酒井リ、立枝光江、川崎みな、松本勇美、齊藤菊子、江尻キヨ、鈴木ヒサ子、安藤佳枝、齊藤千代子、江山環、今内美智、相澤チヨ、棚部アヤ子、佐藤品、鶴沼スサヨ、横内復、松島フミ、大川節子、馬上タカヨ、馬上サク、松崎貞、吉田アキ、久野悦、先崎アエ子、大平品子、白井ハマ箱崎喜榮、菊地ユキエ、高橋トク、赤坂照子、小松チヨ子、草野富士、櫻庭富美、佐々木富士、鯨岡トシ子、瀬谷徳子、草野政子、平井貞子、坂本孝子、明智ツヤ子、小泉郁子、山本マ、草野信

- 子、山野邊フヂ、永峰榮子、渡邊武子、田中サイ小曾野文子、羽岡やなぎ中村喜美子、遠藤トシ、箱崎松枝、小林榮、鈴木キミ、佐原カネ子、筒井キミ、國府田ミキ、小野米子、安孫子ノブ、緑川はる、木田トミ子、小湊千代子、山田上子、本岡榮子、山部安子、飯田淑子、白土喜恵、遠藤サタ、森英子、加藤菊枝、吉田部子、松長道、大和田富貴子、宮内澄子、坂本タカヨ、谷地金子、鈴木六子、新妻チヨ、大友アヤ子、伊藤サタミ、渡邊ヤオ、小松ツタヨ、松井しげ、田子レル、渡邊幸子、富岡喜美、佐藤榮子、鈴木チエ、小幡道子、鯨岡ツネ、金子トシ、猪狩ツルヨ、阿部トヨ、柴崎雪江、山口ヨシミ、郡司榮

- 子、緑川ユキ、白井美江子、鈴木アヤコ、磯上チヤウ、新妻静子、早川壽美、鈴木ミチヨ、高橋ヒサ子、佐藤春子、島田榮子、吉田英子、猪狩千代子、端山トシ、佐藤シツエ、横山良子、吉田泰子、瀧しも、戸田潔子、栗田幸江、大方光、賀澤志津枝、上遠野英子、吉田さみ、戸倉江智子、白井ふさ、生田目チヨ、鈴木登貴、熊取妙、松田豊子、作山サタ子、赤津貞子、根本多麻子、林知代子、阿部榮子、大森武子、岩堀ふみゑ、松本雅コ、立花昌、西山淑コ、花海みつ、四家利子、丹野テヲ、有吉操、遠藤榮コ、佐藤千代、加藤美恵コ、菅原美代、益谷まさ、鈴木とし、大友ミヨコ、上川

## 酒屋に石を

### 投げ込んだ暴漢

石城郡小川村字下小川坂本兼松方止宿新瀨中浦原郡大分村石戸生れ日雇業瀧谷留四郎(ハ)は二十九日午後七時頃内郷村字小島たつみ屋方で飲酒し平町に來り同町長橋町五十嵐酒店に酒を飲ませるとあばれ込み石を投げる等亂暴を働いて平署に檢束された